

- ◆ 6番（**森田卓司**君） こんにちは。岡山県の中心、建部地域から参りました新風会の**森田卓司**でございます。市民の皆様の代弁者として議会議員活動を続けて、誠実に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

旧建部町の合併前、そして現在の状況を紹介しながら、通告に従いまして個人質問を行います。

平成18年4月27日に開催された第6回岡山市・建部町・瀬戸町合併協議会で、花岡前議長から「今後の新しい岡山市の発展のために、我々議会といたしましても、この合併協で決定されたこと、また意見があったこと、それを一つ一つ大切にして新しい岡山市をつくってまいりたい。と同時に、議会と当局は車の両輪ということでございます。高谷市長を支えてこの合併が成功するように、議会として責任を持って支えてまいりますので、御安心をして両町、岡山市と一緒にになりましょう」との建部町民にとって力強いお言葉をいただきました。

また、合併後、平成19年2月18日に挙行された岡山市・建部町・瀬戸町合併記念式典での壇上、高谷市長からは、このたびの合併は、住民の身近な基礎自治体として、より充実したサービスを提供し、住みやすいまちづくりの展開を目指すものであると、時期と場所は違いますが、お二方にはともに心のこもった力強いお言葉を賜り、私は合併を議決した元建部町議会議員の一人として、強く胸を打たれました。

式典に参加した旧建部町の方々も、ともに政令市を目指す岡山市民としての自覚と責任をより一層感じたものと思います。

合併後、5カ月が経過し、旧建部町時代の事業が岡山市の他課の事業とタイアップして岡山市との一体感を上げている行事もあります。一例を挙げれば、旧建部町時代に栄養委員会の皆様の指導のもと、健康で長寿でいるために、男性も料理に親しもうと毎月1回、男性料理教室が行われてきました。その男性料理教室が岡山市男女共同参画推進週間のさんかくウィーク2007公民館行事として先日6月23日、「男の料理～酒の肴をつくる～」と題して、講師の先生、栄養改善協議会の皆様方の指導のもとで今月は実施されました。

そのほかにも、岡山市との協議が順調に進んでいる事業もあるとお聞きしております。

一方、旧建部町の方々の中には、先ほど同じ会派の柴奥議員さんからもありましたが、特に建部町は岡山市の最北の地域になり、行政サービス等で取り残されるのではないかと、今議会の代表質問等でも取り上げられてきましたが、上下水道の料金等岡山市に統一されたらどのようになるのだろうか、との不安の声も聞こえてまいります。

新市基本計画のハード事業の実施工程表どおりの実施は言うまでもありませんが、合併したそれぞれの地域の特性を生かし、市域全体が一体となって、将来に光り輝く魅力ある岡山市を創造するため、そういう方々の不安を払拭する意味も込めて、次の4点に集中させていただきます。

まず、産業廃棄物処分場の建設についてお伺いいたします。

建部地域は、地域の中央を清流旭川が流れ、四季折々に景色を変える緑豊かな地域で、自然環境にあります。特に旭川では、3年前は不漁が続いていた時期もありますが、旭川南漁協さんたち、皆様方の御協力もあり、以前からアユ等の釣りの名所として知られております。

旭川をもっときれいにしようと旧建部町時代、漁協関係者の皆様と高谷市長も会談されたとお聞きしております。

私は、岡山市との合併関連4議案について、平成6年9月定例建部町議会において産業廃棄物処分場の建設について反対決議がされていることと等が合併協議会の中で示され、その協議会の中でも、建部町は水質、水源を守る位置にあり、施設建設には反対であるとの意見が了承されたこと等で賛成討論を行いました。

そこで現在の状況をお伺いたします。

岡山市建部町において、現在のところ産業廃棄物処理場の建設計画はあるかどうかお聞かせください。

次に、御津地区に計画がされている産業廃棄物処理施設建設についても質問通告を行っていましたが、市民ネットの羽場議員が代表質問で詳しくお尋ねになりましたので、1点のみお尋ねいたします。

2月定例議会で採択された請願の報告の中に、参考情報として次回の審査会へ提出することとしているとの報告をいただいております。

そこでお尋ねいたします。

次回の審査会の開催予定が決定していればお答えください。

次に、建部保育園の改修計画についてお尋ねいたします。

平成17年6月2日に建部町民2,480名の署名による建部保育園の改築に関する陳情書が建部町長、建部町議会議長あてに提出され、旧建部町議会では全会一致で採択されました。その要旨は、昭和54年4月に落成された建部保育園は、26年が経過した現在、継続的な雨漏りにより建物の老朽化が著しく進み、特に雨の日には、雨漏りによって保育に支障を生じており、また園舎の特異な構造によって、耐震等の安全性にも不安がある等であります。

そこで新市基本計画にも組み込まれています建部保育園の整備についてお尋ねいたします。

- 1、建部保育園の現状をどのように当局が把握しているかお聞かせください。
- 2、新市基本計画実施工程表によると、平成19年度から4年間の事業計画となっておりますが、具体的な改築計画はできているのでしょうか。
- 3、良質な保育環境を実現できるよう、合併によるスケールメリットを生かして早期の整備を要望いたします。

次に、合併により解消されました旧町指定文化財の再指定についてお尋ねいたします。美作の国、旧久米郡福渡町と備前の国、旧御津郡建部町が昭和42年に合併してでき

た現在の岡山市建部地域は、古来の美作の文化と備前の文化が旭川流域と吉備高原に形成された有形、無形の文化が薫る地域です。岡山市民の皆様方も、古来の文化が色濃く残る建部地域をぜひ散策してください。建部地域の文化面のよさも理解していただければ幸いです。

さて、旧建部町はこのような文化財マップというのを発行しているんですが、文化財マップによると、岡山県指定重要文化財に志呂神社御供、竹内流古武道発祥の地等7カ所、旧建部町指定の重要文化財に成就寺三重塔、和田神社本殿等38カ所がマップに掲載されています。

市政概要説明会資料によると、合併により解消された旧町指定文化財の調査を行い、再指定に取り組むとあります。

そこで再指定についてお尋ねいたします。

- 1、岡山市における文化財指定の手続をお聞かせください。
- 2、今回合併した建部地域、瀬戸地域の再指定の計画をお聞かせください。
- 3、合併をして2年が経過した旧御津町・灘崎町の現状もお聞かせください。

最後に、福渡高等学校跡地の有効活用についてお尋ねいたします。

福渡高校は、82年の歴史と伝統を重ね、近年では海外に学校をつくる活動やカヌー一部の活躍など特色ある活動に取り組み、まさに地域の顔として地区住民とともに歩んでまいりました。しかし、県立高校の再編整備に伴い、幾多の存続活動も功を奏することなく、本年3月をもって閉校となりました。これも時代の要請とはいえ、生徒やOB、学校関係者など人々の交流もなくなり、まちはにぎわいを失い、建部地域の住民にとってそれは寂しいものとなっております。

この高校跡地の有効活用については、地元の福渡商店街の方のみならず、地域の活性化を願う建部地域の市民すべての強い思いであります。

新市基本計画では、建部地域のまちづくりとして、福渡高校跡地への学校等の誘致を図るとされておりますが、現在具体的な計画があるかどうかお聞かせください。

仮に計画が未定であるならば、これも合併と同様、10年後、20年後の将来にわたって地域の方々に喜ばれる活用方法を探る必要があります。岡山県や地元との調整等課題が山積していることは十分理解しておりますが、岡山市当局としても、政令市移行の中で重要な課題として位置づけていただくことを要望して私の質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。(拍手)

◎ 環境局長（繁定昭男君） 産業廃棄物処分場についての2点の御質問をいただいております。

まず、岡山市建部町において、現在のところ産業廃棄物処分場の建設計画はあるのかとのお尋ねでございます。現時点では、岡山市建部町地区に産業廃棄物処理施設の建設計画はございません。

次に、御津虎倉地区に計画されている産業廃棄物処理施設建設について、次回の審査会の開催予定はとのお尋ねでございます。

本産業廃棄物処理施設建設計画には、焼却施設及び最終処分場があり、審査していただくことが多岐にわたるため、産廃条例に基づく審査会を今までに4回開催しております。次回の審査会は本年7月2日に開催する予定でございます。

以上でございます。

- ◎ 保健福祉局こども・子育て担当局長（奥田さち子君） 建部保育園の改修計画についてでございます。

建部保育園の現状をどのように把握しているかとお尋ねでございます。

建部保育園につきましては、当初から雨漏りの問題があり、修繕を繰り返してきており、旧建部町が平成17年度に行った老朽度調査において、施設の改修または建てかえを至急実施すべきであると判定されております。合併後も、主に雨漏りに起因する修繕を行っておりますが、問題箇所の修繕を繰り返すのではなく、抜本的な問題解決策として、新市基本計画に基づき整備しなければならないと考えております。

次に、新市基本計画実施工程表によると、平成19年度から4年間の事業計画となっているが、具体的な改修計画はできているのか、また良質な保育環境を実現できるように合併によるスケールメリットを生かして早期の整備を、とのお尋ねに一括してお答えします。

建部地区では、現在4つの保育園において就学前児童の保育を行っており、建部保育園はそのうちで最も多くの園児を受け入れております。今年度は、建部地区全体の就学前児童の保育の推進という観点を考慮した保育園のあり方を検討し、新市基本計画実施工程表に基づいた整備を目指しているところでございます。

以上でございます。

- ◎ 教育長（山根文男君） 合併により解消された旧町文化財の再指定について、3点の御質問をいただいております。

1点目が、岡山市の文化財指定の手続について、2点目が今回合併した建部地域、瀬戸地域の再指定の計画、3点目が2年前に合併した旧御津町・灘崎町の現状についてということでございます。一括してお答えをさせていただきます。

合併によりまして旧町の文化財保護条例が失効いたしました。そういうことから、旧町指定の文化財は現在非指定となっております。教育委員会といたしましては、行政の継続性という点からも、旧町指定の文化財につきましては、専門的附属機関であります岡山市文化財保護審議会によります実態調査を順次実施中でありまして、岡山市指定重要文化財の指定基準を満たしていると評価された物件につきま

しては指定を図っておるところでございます。

旧灘崎町分につきましては、実態調査がおおむね終了し、指定に向けましての実務に取り組む段階でございます。また、旧御津町分につきましては、大半の調査を既に終えております。

議員お尋ねの旧建部町分と、それから旧瀬戸町分につきましては、旧御津町分が終了し次第、実態調査に取りかかりまして、調査結果に基づき順次指定を図ることといたしております。

以上でございます。

◎新市建設計画推進局長（高橋義昭君） 福渡高校跡地の有効活用についてお尋ねをいただいております。

現段階におきまして施設管理者である岡山県教育委員会からは、本年3月末をもって廃校となった旧県立福渡高等学校の跡地活用についての特段の計画はないと聞いておるところでございますが、当該跡地活用につきましては旧建部町における地域振興の重要課題として、地域の特性を生かした拠点づくりにふさわしい施設誘致に向けて、地元自治体の立場から取り組んでこられた経緯があり、新市基本計画にも位置づけられております。したがって、本市としても新市基本計画の着実な推進を図るため、引き続き岡山県教育委員会と関係部局と必要な協議を行いながら、跡地活用について検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

[6番森田卓司君登壇]

- ◆ 6番（森田卓司君） 再質問というか、要望になるかもわかりませんが、まず旧町指定の文化財なんですけど、できるだけ早急をお願いしたいと思います、教育長。

続きまして、福渡高校跡地の有効活用ですが、私も福渡高校の卒業生であります。本当に卒業した小学校はなくなる、中学校も存続はしていますが名前が変わっている、建部町、名前はありますが本当の自治体としての建部町はなくなる、高校もなくなる、本当に寂しい思いを個人でしております。県下では、まだまだ高校の再編というのはあると思われまして。ですから、どうかこの福渡のまちの方たちも、それから先ほどの質問でも申しましたが、地域全体で本当に福渡・建部地域の活性化を願っております。そのためには、福渡高校跡地の有効活用というのは非常に重要な役目というか、役割を果たしております。今後再編校が出て、跡地がどんどん出てくると思いますが、廃校になったその跡地の有効活用の見本となるような施設にさせていただきたいと思っております。当局はもちろんのこと、幅広い御見識をお持ちの議員の皆様にも、これはお願いしておきます。どうぞよろしく願いいたします。

それから、先ほど柴奥議員からも市長にお願いをされておりましたが、建部町時代、

旧建部町は合併をしなくては財政再建団体になってしまうというふうには執行部の方からお聞きしまして、その当時はまだ夕張市の名前は出ていなかったんですが、私がこのように岡山市議会に来させていただいて約2カ月ですが、7,000億円の借金があるということで、まあ解釈の違いはあれ、非常に厳しい状況であるというふうに感じております。今回合併した地域の市民の皆様にも、先ほど柴奥議員にお答えされましたが、建部の地域の皆様にも合併して夢と希望が持てる美しい心を持った地域づくりができるという言葉を市長よりいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

これで私の再質問終わります。(拍手)

◎ 市長（高谷茂男君） 森田議員の再質問にお答えいたします。

いつも申し上げておりますように合併というのは本当に将来、今1年や2年でわかりませんけれども、5年、10年、20年たった暁にはやはり合併しておいてよかったと思われることが必ず来ます。合併というものは、行財政改革のためにやるわけですが、根本的にはね。で、岡山はそれを目指して、たまたま70万人になりますし、それだけの都市力がありますから、政令市を目指して今やっておるわけでありましてけれども、日本じゅうの市町村、これからどういうふうになっていくかというものを見てもらったら大体わかってきます。そういう面で、やはり早くそういう認識を持たれてされた町長さん、議員の皆さん、町民の皆さん、やはりこれは賢明な策だったと必ず思うと私は思います。我々も一緒になって……、そんな端だからどうこうということはありません。やはり全岡山市の中で特色のある建部地区というものがこれから機能を果たしていくことは間違いのないと思いますし、我々も本気で歴史と伝統を踏まえた地域を発展させていこうと思っておりますから、どうぞ御安心をいただきたいと思います。

ありがとうございました。

◎ 教育長（山根文男君） 御要望と言われたようにも聞こえたんですけど、文化財の再指定を早急にとということでございます。

もう本当に御要望をいただきまして、できるだけ早急に調査をし、そして審議会にかけて再指定になるべく、頑張ってまいりたいと思います。